

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2019年4月15日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#)>[共同・受託研究](#)>[申込書／契約書](#)>[本学研究シーズの利活用の申込み](#)>[WEB](#) から

出願番号 整理番号 担当者

| | | | |
|----------|---|--|--|
| 表題 | 環境振動測定方法、環境振動測定装置及び環境振動測定プログラム | | |
| 発明の概要・応用 | 【課題】 建築構造体の被覆材を剥がすことなく、被覆材の共振特性に影響を受けずに基体の環境振動を簡易に測定可能とする。 【解決手段】 センサが内蔵された振動ピックアップ2を用いて建築構造体10の振動を測定する環境振動測定方法であって、建築構造体10が、基体11と、基体11の表面に被覆された被覆材12と、を有し、被覆材12上に被覆材12よりもばね定数が小さい介挿シート20を配置し、介挿シート20を介して基体11から伝達される振動を振動ピックアップ2で測定し、振動ピックアップ2の測定結果を介挿シート20の共振特性に基づいて補正することで、基体11の振動加速度あるいは振動加速度レベルを求める。 | | |
| 発明の特徴・効果 | 本発明によれば、建築構造体の被覆材よりもばね定数が小さい介挿部材を介して振動ピックアップで計測を行う。被覆材よりもばね定数が小さな介挿部材を介することによって、振動ピックアップの測定結果が被覆材の共振特性の影響を受けにくくなる。介挿部材の共振特性は予め取得可能であることから、介挿部材の共振特性を用いて振動ピックアップの計測結果を補正することによって、基体の振動加速度あるいは振動加速度レベルを正確に求めることができる。したがって、本発明によれば、建築構造体の被覆材を剥がすことなく、被覆材の共振特性に影響を受けずに基体の環境振動を簡易に測定することが可能となる。 | | |
| 技術分野 | 土木・建築 | | |



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp